

三
月

REEL No. 1-0557

0226

事件が全部自己一個の意見から出たものであることを而も
最初より明白に断言し、交渉の開始は、一受て、労働改
正の訓令を受け、打合を為さず、而して金に大丈史
ナリト、信念を得、初メテ政府の承認を受け、洞印
を、元次第ナシハ斯ノ長曠日ヲ費シタリ

藤田ニ於ケル私有財産の別ニテハ現在労働政府ノ
主義トシテハ私有財産を認め居ラスト云、又將來之
ヲ以テ公ルニ至ルヘレ如何トナラハ吾國政府ノ國庫金
ハ一銭モナク人民ニ對シテ國庫金納入ヲ督促スルト雖
モ元來私有財産ナキヲ以テ各人ノ收入調査不充分ナリ
爰ニ於テ政府ハ各人自生生活費ノ過剩金全部ヲ納
入ト命スルモ人民ハ言ヲ左右ニシテ納入スルモ少數
ニシテ到る者皆使、堪忍を依り、多少ノ國庫金貯蓄

ヲ得タル上ハ、継続的ニ國庫金ノ收入ヲ計ルニハ
私有財産を以テ之一定法規ノ元ニ納入ヲ計ルコトナ
ルハ、世道ニ遠カラサレ、元々未共善主義ト云々、莫
ハ、実行不可成ナリ

尚先年ノ香港事件ニ對シテハ、非常ニ急ニシテ
ソレを爲メ、今日ハ協同ニ日本側ノ有利ナルコトニセリ
云々

不逞鮮人ト張作霖

奉直義勇商賈張作霖、不逞鮮人約三万人ヲ採用
シテ、義勇隊ヲ組織シ、計画ヲ樹テ、或ル有力ナル鮮人ハ
張ノ内命ヲ受テ、朝鮮總督府ニ至リ、糧食交渉ヲ
爲シ、タル結果、總督府ノ同意ヲ得タル趣ニシテ、其交
渉ノ要點、夫レ國境ノ不逞鮮人ヲ統一シテ、吾人ノ兵團

MT 1614 22499

MT 1614 22498

馮玉祥最近

馮玉祥北京ニ入ラズニ松花江ニ止リ各地ニ共營
等ヲ建設シ何事ソシ計劃ニ居ルモノ如ク學メニ張
作霖其行動ニ付巨意ヲ拂ヒ居ルニ趣尚ホ庄
相十三日頃馮玉祥弟一夫人ハ書六日方西入金
ハ又携帶巡走セルト云ニ或ハ表面ヲ非難ス下見セ
テ裏面ハ夫婦共謀ノ上ニ悔也ハ外國銀行ニ預金
ハ計數凡ニ八千三サレキト聞料セラルルハ即チ死ヲ
索シテ馮玉祥ハ奉天直隸中張作霖朝リ四百五十
ニ買収セラルルハ樞密ニ其交渉及金夫入控メシ
事アルハ日本公使館附カ書局ハ威嚇ヲナリト
云フ

支那人ハ異種ヲ喜観

支那人ハ異種ヲ喜観ニ同情ト云フ九カ元來
吳ハ人氣取業ニ敏懐ナル人種ニ彼ハ敢言シテ
余ハ何物奈州ニ身置キ處テ久カ下モ他人ノ如ク
決之ヲ難ク固執ニ避テ身ハ安全ニ期スルカ如キ
トトモ爲メシ望メテ若シ支那人ニ近キトテ悔
外ニ之ノ節セサルカ比シ夫ハ支那人ノ人義ヲ授ク
存因ナレカ如シ

上海ニ於テハ總領事館ニ罷業員ノ事

上海ニ於テハ總領事館ニ罷業員ノ事
ト振ノ業員ノ樹ニ在テ前日度ハ終テハ昨日毎起ト
有取ナシ之ガ美上處ニ付テハ重大ナル事件ナルヲ以テ領
事館ニ相告メ訓震アリ女官傳ヘラシニ官ナリ

MT 1614 22503

MT 1614 22502

然ルニ又外国人側ニ英國人始メ一般外国人ハ共産
産後彼等以下ニ行ケル其業界トシテ其部全工場
ニ此及セリトシテ憂慮主日本人以上ニ重大視シ居ル
直隸州銀行(北京)為利(本)在(有)由(少)ハ奉(正)兵
道(軍)不(利)トナリタル結果破産状態トナリ是等
銀行ヨリ余行セリトシテ其後整理(急)ニ進(出)ナリ
爲(二)取(至)際(界)ノ打(擊)ノ強(ク)又(亦)ト(是)元(來)
事(之)則(チ)支(那)人(國)下(ト)ハ(大)半(商)人(元)子(中)
小(商)人(之)運(命)也(大)臣(取)得(命)運(之)外國(銀)行(ト)取(引)
之(店)ト(シ)テ(係)上(銀)行(ト)共(ニ)被(害)然(ル)際(リ)又
此(有)テ(大)笑(シ)小(商)人(等)被(害)甚(ク)矣(ト)知(ル)位(ナ)ル(極)
ナリ然(ル)ニ支(那)人(自)民(性)ハ(好)奇(心)ヲ(持)テ(ハ)興(亡)
隆(替)ヲ(災)災(地)妻(其)他(人)生(命)ヲ(掃)枯(滅)ス(其)人(等)是
ソ(天)命(知)ト(シ)テ(任)方(加)ナ(リ)ト(決)シ(テ)亦(事)ヲ(清)メ
居(ル)状(態)ナリ

以上

MT 1614 22505

MT 1614 22504

附屬資料

情報部第一課

(已號用紙)

公第一一四號

大正十四年三月三日

在支那

特命全權公使 芳澤謙



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

北京情報送附ノ件

本年二月分前半北京情報別紙ノ通り及送附候間御査閱相成度此段申進候也

普通
受第 138 號
14.3.13

封了

亞細亞

在北京日本公使館

MT 1614 22520

北京情報 (大正十四年二月前半分)

○官界重要事件

二月二日 張宗昌ニ陸軍上將銜ヲ加フ江蘇ノ戰功ニ依ルモノナリト
同日 導波督辦曾辦ノ官職ヲ撤廢ス

六日 張譽ノ江蘇運河工程、吳淞商埠事宜、江北治海五縣新運河
事宜督辦ヲ免シ前國務總理孫寶琦ヲ松滬商埠督辦ニ上海商
總會總理處和德ヲ同會辦ニ任ス

同日 海軍總司令杜錫珪ヲ免シ楊樹莊ヲ總司令ニ任シ李景嶽ヲ海
軍練習艦隊司令許建廷ヲ海軍第二艦隊司令ニ任ス

七日 四川邊道所屬地方ヲ當分ノ内西康特別區域ト改メ楊森ヲ
四川軍務善後事宜督辦ニ劉文輝ヲ其幫辦ニ任シ又鄧錫侯ノ
四川省長ヲ免シ賴心輝ヲ四川省長ニ任シ劉湘ヲ川康邊務督
辦トシテ同省區ノ軍隊ヲ管轄セシメ劉成勳ヲ西康屯墾使ト
シテ民政ヲ兼理セシメ

八日 四川督理ノ職ヲ撤廢ス

(已號用紙)

在北京日本公使館

MT 1614 22521

REEL No. 1-0557

0232

十日 川黔邊防督辦袁祖銘ニ貴州全省軍隊節制ヲ命シ四川駐在貴州軍隊ヲ兼管セシメ川邊邊防督辦、川邊督辦、川邊鎮守使ノ官職ヲ撤廢ス

十一日 護理山東省長龍濟光ヲ山東省長ニ任ス

同日 陸軍第六師、第十九師及江蘇陸軍第二師ノ隊號ヲ撤廢ス

同日 江蘇省長韓國鈞ノ本官ヲ免シ鄭謙ヲ江蘇省長ニ任ス

龍濟光豫海鐵道二千萬元短期借款期限ニ達セルニ付新債票ヲ發行シ舊債票ヲ回收スル辦法及四洮鐵道短期借款元利期限到達セルニ付期限變更等ノ條件ニ關スル交通總長ノ申請ハ二月七日認可ノ旨公表ス

交通行政ニ關スル附加賑捐ハ六ヶ月延期シ八校ノ經費ニ充ツルコトヲ認可シ且ツ此舉ハ一回ヲ以テ限リトナスコトヲ二月十一日附ニテ交通、教育兩部ニ指令ス

鎮威上將軍節制東三省軍政、東北邊防屯墾事宜督辦、奉天軍務善後事宜督辦張作霖ヨリ公署組織ノ報告アリタル

(已號用紙)

在北京日本公使館

MT 1614 22522

二月一日 新華門内大禮堂ニテ開會式ヲ舉行シ段執政以下國務員一同出席ス會員ノ出席者八十六名ニシテ趙爾巽ヲ臨時主席トシ籌備處長許世英ノ報告了リ段執政國務員代表内務總長蔭昌心及臨時主席趙爾巽ノ祝詞等アリテ式ヲ畢ル

三日 談話會ヲ開キタルニ出席者七十四人ニシテ趙爾巽主席トナリ先ツ議事細則制定ノ委員ヲ擧ケ次ニ時局ハ善後會議ニテ解決スルニ依リ速ニ一切ノ軍事行動ヲ停止スル様全國各地方ニ勸告方ニ關シ出席員全體署名シタル文書ヲ執政府ニ提出スルコトヲ議決シタリ尙ホ右文書ノ主旨ハ其後執政府ヨリ各地方ヘ打電シタルニ之ニ贊成ノ返電ヲ送り來レル者アリ

九日 豫備會議ヲ開キ議事規則ヲ議決シ

十三日 第一回本會議ヲ開キタルニ出席者百二十九名ニシテ趙爾巽

(已號用紙)

在北京日本公使館

MT 1614 22522

(已號用紙)

臨時主席トシ正式ニ議事規則ヲ通過シ更ニ正副議長ノ選舉ヲ行ヒタルニ議長ニハ趙爾巽、副議長ニハ湯漪大多數ニテ當選セリ
尙ホ専門委員ハ全國ヨリ集合セル者二百餘人ニ達シ各委員ヲ財政、交通、軍事、經濟、政治ノ五科ニ分チ委員會ヲ開ク筈ナリト

○國民黨ノ形勢

國民黨總理孫文ノ病氣ハ依然重體ナルカ同黨員ノ幹部ハ主トシテ執政府ニ反對ノ態度ヲ取り二月十日宣言書ヲ發シ幽本ヲ定ムルハ國民黨會議ニ依ルニ國民黨會議ハ民黨ヲ代表セサル善後會議ヨリ生スヘカラスト主旨ヲ以テ善後會議ニ反對セルモ同黨中ニハ幹部ノ主張ニ反對シ段執政ヲ援助シ時局ヲ收拾スヘキ意向ヲ有シ善後會議ニ贊成セル者アリ頗ル一致ヲ缺ケルカ如シ

在北京日本公使館

MT 1614 22524

REEL No. 1-0557

0234

MT 1614 22490

2

2188 (暗) 北京 本省署

大正四年三月五日 五、五、一〇、〇

幣原外務大臣

芳澤公使

第二一四號

陝西第一九六號之関
胡惠同戦ノ結果陝西督軍劉鎮華ハ二月廿五日
西軍調停ニ當ルヘキ旨ヲ政府ニ電請シ直ニ
洛陽ニ向ヒ現ニ惠ト作戰ヲ共ニシ居ル孫タルガ其
後惠軍ハ禹城 鞏縣 滎陽 一帶ニテ敗戦ヲ
受テ胡軍勢ハニ果シニ沿漸次西進シソ、アル様
様ニテ一表、テハ三月二日己ニ奉軍洛陽ニ入城

MT 1614 22489

タリト傳ヘシ早クモ一般ニ劉及惠ノ失脚ヲサハ
陰期スルニ至リ一面馮玉祥ノ態度ハ依然冷
靜ニシテ兵力胡ノ輕舉ヲ戒メ居ルニテ此点
取調瑞モ至極樂觀ニ居リタルニ觀テハ量
調停ノ方メ派遣セラレタル孫岳ハ新條ニ到ル
ンタル儘形勢ヲ觀望シ居ル様様ニテ殊ニ西
軍ノ権衡失リシタル今日ニ於テハ調停ニ稍々
手達シノ觀アリ一方胡軍羽翼一流ノ者士ハ
此機ニ乘ジ劉及惠ノ討伐命令ヲ政府ニ迫
ラントスル形勢アリ内々國民軍ノ戦力増大
ソ致シ居ル執政存続ニ於テハ号少狼狽ノ
体ニテ百方平和的解決ニ進出シ居ル様様

REEL No. 1-0557

0235

MT

1614

~~21910~~

22491

尚宮様鉄道は今日迄累状ナク運轉ニ居リ
天津、横口、奉天へ轉るセリ。

REEL No. 1-0557

0236

東 方 通 信

三月四日第十二號

◎ 黑龍督軍更迭

奉天四日發東方通信
奉直戰勝功賞の意味で第二旅長郭松林氏は吳俊陞に代り黑龍督軍に任命されるに決定し三月六日張作霖氏職に後継に發表を見るべしと。

奉天四日發東方通信

MT 1614 ~~21914~~ 22486

東 方 通 信

三月五日第十二號

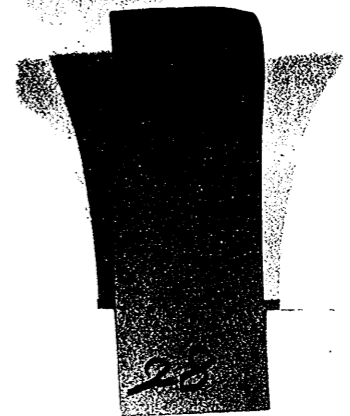
◎ 梁士詒氏入京

梁士詒氏は本日盛んな歓迎裡に着京した段職の下にあつて正式政府に出発の場合組閣の重任を帯ぶべくそれ迄は交通銀行總裁として親政府に財政的援助をなすにありと傳へらる。

北京五日發東方通信

政 況

MT 1614 ~~21928~~ 22495



機密
74.8.28

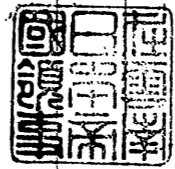
亞細亞局

第一課甲

大正十四年三月五日

在雲南

領事 糟谷廉二



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

唐継堯ヲ国民党首領ニ推戴ノ件

機密郵電第一七號

三月五日唐継堯ノ本官ニ於ル處ニヨレバ孫文ノ病状ニ顧ミ迄未
国民党員ヨリ唐ニ對シ同党ノ首領ニ推戴致度尙頻リニ申来
ルル處唐ハ聯省自治主義ヲ標榜シ居ル關係上同党ノ綱領ト
聯治主義ト調和シ又同党員ト聯治派ト融和シ得ルニ於テハ首
領タルコトヲ承諾スル考ニシテ同下唐紹儀ノ意見ヲ求メツアリ
尙ハ唐紹儀ヲ同党首領ニ推戴ノ說アルモ恐ラク唐ハ之ヲ受諾
セザルコト云々

在雲南日本領事館

本信寫送附先 在支公使、在上海總領事、在廣東總領事

代理

MT 1614 22626

MT 1614 22625

西岡功也ニ送ル

政見一紙

Handwritten signature or initials.

REEL No. 1-0557

0238

普通
受領 139
14.3.16

情報部

亞細亞

公第 11 の 號

大正十四年三月九日

仕文部

特命全權公使 方 榮 廉

外務大臣 芳澤 謙 順 閣 下 謹 啟

又加員外委員 仕免ノ旨

今般以府公報ヲ以テ左記ノ如リ發表有之候ニ付此 記 及 報告 候 也

臨時執政令

吳金魁

贛東鎮守使兼幫辦江西軍務善後事

在支那日本公使館

宣ノ命ス

鄧如琢

贛北鎮守使兼陸軍第一師師長ノ命ス

以上三月一日附

江蘇徐海道道尹趙曾蕃

仕職ヲ免ス

于書云

江蘇徐海道道尹ヲ命ス

以上三月四日附

大正十四年三月九日

14.3.16

MT 1614 22519

MT 1614 22518

REEL No. 1-0557

0239

門 16
類 1
號

普通
14. 3. 14

亞細亞局

公第一二一號

大正十四年三月六日

在支那

特命全權公使 芳澤謙



外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

支那官界要員任免ノ件

今般政府公報ヲ以テ左記ノ通り發表有之候ニ付此段爲念及報告候也

記

臨時執政令

蒙藏院副總裁 沈德子 廿二日

願ニ依リ本職ヲ免ス

在支那日本公使館

莫德惠

蒙藏院副總裁ヲ令ス

張壽鏞

江蘇蘇州府海道尹ヲ令ス

劉振生

京師城郊山官差清理處總辦ヲ令ス

以上三月五日附

MT 1614 22526

MT 1614 22525

綴込名支那内政中央

Handwritten notes and signatures on the right margin.

亞細亞局

第一課

支那内政手帳

大正十四年三月九日

在奉天

總領事 船津辰一

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

段宏業ノ談話

機密郵電第一二七號

三月八日段祺瑞ノ子宏業小官ヲ來訪シ切りニ當地ニ於ケル狀況ヲ
 質問シタル後更ニ小官ノ問ニ對シ大要左ノ如ク語レリ
 一、客冬父ハ各方面ノ懇請ニヨリ已ムヲ得ス時局收拾ノ大任ヲ引
 受クルニ至リタルカ當時自分(宏業)ハ今少シク天津ニ止リ形
 勢ヲ確カメ各方面ト充分ナル打合ヲ爲シ大体方針ヲ確立シタル
 上ニテ上京スル方得策ナリト主張シタルモ周圍ノ反對說勝ヲ制

在奉天日本總領事館

139 號
M. 3. 14

次官

大臣

シタル次第ナルカ今日ニナリテ見レハ矢張り早マリタル感尠カ
 ラス自分今回來奉ノ第一目的ハ勿論張將軍誕辰ニ對シ祝意ヲ表
 スル爲父ノ代表トシテ來リタルカ同時ニ時局問題ニ關シ充分ノ
 打合ハセテ爲サンカ爲ナリ然ルニ着後各方面ト接觸シタル結果
 中央政府ハ近來漸次奉天側ヲ疎外シテ益國民軍側ト接近シツツ
 アリトノ誤解カ奉天側幹部ニ懷カレ居ル意外ナル事實ヲ發見セ
 リ是ハ容易ナラヌコトト考ヘ極力其ノ誤解ヲ釋クコトニ勉メ居
 レリ
 二、今一ツ驚クヘキ事實ヲ發見シタルハ(是ハ極秘ニ願ヒタシト
 附言セリ)奉天側ニテ鄭士琦ヲ安徽ニ移シ其後任ニ張宗昌ヲ擬
 シ徐州ニハ他ニ有力ナル奉天系人物ヲ駐屯セシムル計畫アルコ
 トニテ鄭ヲ安徽ニ移スニハ相當理由ナカルヘカラス然ルニ目下
 ノ處何等適當ナル口實ナシ若シ強テ之ヲ實行セントセハ各方面
 ニ非常ナル惡影響ヲ及ホシ全局面ニ動搖ヲ來スコトナキヤヲ憂

在奉天日本總領事館

MT

1614

22528

MT

1614

22527

フ、父ハ元來何等ノ野心ナシ今回ノ出慮ハ全ク自己ヲ犠牲ニシテ決行セル次第ナリ、且ツ其性質稍短氣ノ方ナレハ若シ奉天側ニテ右ノ如キ計畫ヲ強テ實行セントセハ父ハ遂ニ奮然再ヒ野ニ下ルニ至ルヘシ而シテ時局ハ再ヒ混沌タルニ至ラント憂慮シ居レリ、自分ハ歸京前是非張上將軍ト此點ニ關シ篤ト意見ヲ交換シ此ノ如キ計畫ノ實現ヲ阻止スル積ナリ尙野心滿々タル張宗昌ヲ満足セシムル爲ニハ中央政府ハ毎月鹽稅餘款ヨリ三十萬弗、江蘇ヨリ三十萬弗ヲ支給スルコトトナリ居レリ

三、河南ノ紛擾ハ元ト胡景翼ト劉鎮華トノ勢力争ヒニ基クモノニテ其曲、胡カ極力自己ノ勢力範圍ヲ擴張セントシタルニ在リ但シ本問題ハ有力ナル第三者カ小策ヲ弄セサル限り遠カラス鎮定ヲ見ルニ至ルヘシ

本信寫送付先

在支公使、天津、上海、廣東、漢口、南京

在奉天日本總領事館

MT

1614

22529

REEL No. 1-0557

0242

43

密
62
14. 4. 7

在米國日本大使館

府ニ到着キテ、暫クトシテハ、
 身ニ、自分ニ米人トシテ、
 トレテ仲ニ、回答セサル、
 余ハ、英國ニ、在ル、
 絶セリ
 王ハ、龍惠ハ、駐英公使ニ、
 存ル、意向、向合中、ナリ
 Private route 外交總長
 米人トシテ、今ハ、健康上、
 止メ、
 度、
 交際長、
 北京ノ、

MT 1614 22694

在米國日本大使館

機密
 大正十四年三月廿
 在米
 駐英公使
 支那外交官ノ、
 本日言、
 左ノ通、
 署、
 駐英公使、
 支那外交官ノ、
 本日言、
 左ノ通、
 署、
 駐英公使、

MT 1614 22693

東 方 通 信

弘 一 氏

三月十日午後十一時
東京十日午後 東方通信
○国民党の今後
蘇天仇氏は孫文の死に就いて孫子孫文死後の国民党
総理内閣を承継して国民党を一回大奮闘に挑む規定に
三長多義をモットーとする孫中山先生を総理に推挙す
あり孫氏の死後には何れも人物を推挙し其の規程は如何
ら今後には総理を兼任する委員が其職を代行すること
ある方面の所見は藤東政行代表部員との連絡とか合議
処理が大事とあつてゐる



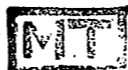
1614

22507

東 方 通 信

中 央 公 報

三月十日午後十一時
東京十日午後 東方通信
○教育総長決定
王九齡は愈々十六日教育総長に就任すべく承諾した
右は唐紹儀請願の結果あるべく執政府前途の一切
現象と視えてみる



1614

22506

北秘第八四號 情報部第課

大正十四年三月十四日

在北京

立田内務事務官

亞細亞局

情報部第課

殿

共産派非共産派軋轢之関スル

國民黨要人ノ辯論

標題ノ件之関スル國民黨幹部派一要人ノ談話要領

左ノ如シ

左記

孫文氏ノ主張スル三民主義ニ依リ以テ共産主義者
ナラザリシコトハ證セラルルモ彼ガ何故ニ共産主
義者ヲ近附ケ労働代表ホロテイン等ニ接近シタル
ヤ之関シテハ二個ノ理由アリ即チ一ハ労働聯邦ノ
労働政策ニ依リ形式上労働者農民ヲ利用シテ政權
ヲ獲得シ自家ノ主義ヲ實現セントシタルモノニハ
大資本家、大地主ノナキニハ共産主義ノ恐ル
ヘキモノニアラザルヲ知リ労働聯邦ト關係シ結ッ
ニ何等ノ害ナク自己ノ主義ヲ實現スル上ニ却テ便
益ヲ得テラレルモノト爲シタルニ依ルモノナリ然レ
トモ労働聯邦ノ悪感ヲ受テコトヲ恐レテ斯クノ如
キ理由ヲ明白ニ述フルコトナカリレハ勿論ナリ

MT

1614

22531

MT

1614

22530

党由之共產主義者ナルノ故ヲ以テ世人維々ニシテ
國民黨ノ共產化ヲ指摘スルモ孫氏ハダイレクタイ
ノ如ク自分ノ主義主張ニ対シテハ黨員ノ絶対服従
ヲ求メタル為メ汪兆銘乃至胡漢民ノ如キモ其ノ命
ノ儘ニ行動シ居タルモノニシテ其ノ行動ハ彼等ノ
自由意思ニアラス党内外ニリ共產主義者ト認メラ
ルル者モ多クハ孫氏ノ意思ニ依リ共產黨員ニ接シ
シ居タルニ過キスニテ共產主義者ニアラサルナリ
反共產派ハ之等ノ黨員ニ戦ヲ挑シタルモ這ハ孫氏
ノ真意ヲ解セズ徒ラニ孫氏ノ絶対服従スルモノ
ノ行動ヲ誤解シタルニ基クモノト云フヘク其ノ間ニ
理解ヲ缺キ居ル為メ兩派ノ關係ハ今尚氷炭相答シ

ナル状態ニ在リテ國民黨ノ将来ニ大ナル暗雲ノ兆
シ居ルコトハ事實ナリ
國民黨トシテハ日下ノ處孫氏ノ後ヲ誰ニシヘキ適任
者ナク從テ此キ将来ニ於テ總理ヲ選定スルコト能
ハサルヲ以テ各分令議制即チ中央執行委員會ヲ總
理ノ職務ヲモ併セ行フコトトナルヘク現在ノ委員
カ依然留任スルモノト豫測セラル

通報先

警保局長

情報部次長

朝鮮、關東、甚邊各警務局長

上海、哈爾濱、長春

MT

1614

22533

MT

1614

22532

次官 書

秘

陸同文

至急電報

大正十四年三月十四日
三月十三日午後二時五十分發
十時三十分著

參謀次長宛

天津軍參謀長

外務省

天電第四五号

亞細亞局長

孫文死後ノ国民党ノ情况ニ関シ當方北京連絡員カ
林東大學其他ニ就テ調査シ得タル所次ノ如シ

一孫文ノ死ハ共產派ニ多大ノ打撃ヲ與ヘ汪兆銘等ノ頗ル
意氣消沈セルニ對シ非共產派ニテハ左程痛痒ヲ
感シ居ラサルカ如シ之ヨリ先非共產派ニテハ共產派
ノ機先ヲ制スル北京大學第三院ニテ中國之民同志
俱樂部會式ヲ舉ゲ共產派及政學子會ヲ除キ
千名ノ參會ヲ得國民黨員ノ大多數ヲ包容スルニ

至リタルカ汪兆銘等ハ右大會ニ關孫ナク且合志俱樂部
ノ為メ多數黨員ヲ奪ハレタルヲ憤リ張繼干右任ニ對シ
詰問狀ヲ發シタルモ張繼等ニ默殺セラレ形勢益々
共產派ニ不利ナレリ

二要スルニ孫ノ死ハ大局ニハ左程影響ナカレハ又モ
國民黨ハ分裂ヲ免レサルヘシ合志俱樂部
内ニ唐紹儀推戴派アリ合志俱樂部ハ國民黨系
ノ後援アリ徐謙ハ馮ト干右任ハ胡及孫ト褚輔成ハ唐
繼堯ト連絡ニ任レツアリ

三國民黨中央執行委員會ニテハ未十日本北京民國日報
等ノ態度ニ就キ宣言發表ノ計畫
関東上海哈爾濱スミ

91'S 41
3.16

一般の記

MT

1614

22535

MT

1614

22534

秘

秘

電報

參謀次長宛

廣東

重藤少佐

大正十四年三月十四日

三月十四日午後二時四十分着

一、二十日孫文死去、報ニ接シタル廣東政府ハ七日

間歌舞音曲ヲ禁シタル外未タ大ナル反響ナシ

二、孫文ノ遺言ニ依リ國民党ハ委員制ヲ布キ来ル

五月同党大會ニテ委員ヲ選出スト

重藤少佐

MT

1614

22536

REEL No. 1-0557

0249

第一課

第一課

改訂版

31

三編 亞局

陸 同文

至急電報

大正十四年三月十四日
三月十三日午後二時五十分
十時三十分著

參謀次長宛

天津軍參謀長

天電第四五号

外發省

孫文死後、国民党ノ情况ニ関シ當方北京連絡員カ
北京大學其他ニ就テ調査シ得タル所次ノ如シ

要旨付

機密 220 14.3.16

一 孫文ノ死ハ共產派ニ多大ノ打撃ヲ與ヘ汪兆銘等ノ頗ル
意氣消沈セルニ對シ非共產派ニテハ左程痛痒ヲ
感シ得ラサルカ如シ之ヨリ先非共產派ニテハ共產派
ノ機密ヲ制シハ且北京大學第三院ニテ中國之民同志
俱樂部會式ヲ舉ケ共產派及改進黨會ヲ除キ
千名ノ參會ヲ得國民黨員ノ大多数ヲ包容スルニ

MIT

1614 22537

至リタルカ汪兆銘等ハ右大會ニ關係ナク且合志俱樂部
ノ為メ多數黨員ヲ奪ハレタルヲ憤リ張継平右任ニ對シ
詰問状ヲ發シタルモ張継等ニ默殺セラレ形勢益々
共產派ニ不利トナレリ

二 要スルニ孫ノ死ハ大局ニハ左程影響ナカルヘキモ
国民党ハ分裂ヲ恐レサルヘシ合志俱樂部
内ニ唐紹儀推戴謀アリ合志俱樂部ハ國民軍系
ノ後援アリ徐謙ハ馮下干右任ハ胡及孫ト褚輔成ハ唐
繼堯トノ連絡ニ任シワアリ

三 国民党中央執行委員會ニテハ本月十日北京民國日報
等ノ態度ニ就キ宣言發表ノ旨
関東 上海 哈爾濱 スミ

MIT

1614 22538

14. 3. 28

亞細亞

第一課

公第一三四號

大正十四年三月十四日

在支那

特命全權公使 芳澤謙



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

支那官界要員任免ノ件

今般政府公報ヲ以テ左記ノ通り發表有之候ニ付此段備念及報告候也

記

臨時執政令

段宏綏

陸軍部參事ノ命ス

在支那日本公使館

江西廬陵道道尹陳方幾員

本職ヲ免ス

杜天驥

署江西廬陵道道尹ノ命ス

宋珂

署四川達昌道道尹ノ命ス

九江漢口監督黃祖徵

本職ヲ兼免ス

景啟

九江漢口監督ノ命ス

以上三月十二日附

MT 1614 22577

MT 1614 22576

REEL No. 1-0557

0251

機 密
受領 2676 號
14. 3. 17

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原表吉郎殿
指定廳府縣長官殿

亞細亞局
兵務部長 第五二八號
大正十四年三月十四日
兵庫縣知事 平塚廣義
送名 政見

孫文、死去ニ関シ国民党沖支部長、感想
人場、新聞、大要、左、如、才、感想、ヲ述、ク、
右、海、中、(通) 報、録、也

孫先生ノ逝去ハ中國ニ取リテ大ナル損失ナルニ命
數ノ定マル所ト何トモ為シ難シ孫先生ハ三民
主義ナル大理想ヲ以テ終始一貫最モ清廉
三國事ニ奔走シタルハ敬ニ味方モ是認スル所ニシテ
國葬ト為スハ固ヨリ当然ナリ
大多數党ノ中國々民党ハ陳独秀ヲ先鋒トス
ルヲ故ノ急進派ト之ヲ除キタル多ク、穩健
派トシ、二派ニ分レテ乳棘ヲ生シ居タルモ孫先生ノ偉
大ナル破綻ヲ生スルコトナク、レテヨリ之ヲ統制シ来リタル
カ先生漢族ノ國民黨ハ怨ヲ多ク分シス
而シテ穩健派ハ黨員中ニ信望アル吳稚暉
氏カ臨時總理トナリテ中流ヲ統制スルニ至
ルヘリ余ハ依令テ急進派カ分離スルトモ大勢

MT 1614 22542

MT 1614 22541

REEL No. 1-0557

0252

二ハ窮郷者ナレト信ス定率ノ口分離ニ依リテ將來ノ
紛糾ヲ除キ却テ國民黨ノ基礎ヲ固キ固ニ
スレト認ムルモナリ而シテ日本ニ於ケル各支部
ハ務先ニ去國民黨ノ分離ニ依リテ此ニ勤
操ヲ果タヌ加チ二十一年ハ勿論ナリ云々

(=)

MT

MT

1614

22543

REEL No. 1-0557

0253

電信課長

大臣

次官

秘書

印

亞細亞 通商 條約 人情 報 會 計 文 書 平和條約 對支文化

件名

綴込名

北京 李省署

大正十四年三月

十六日 午後七、四五
十七日 午後三、〇

亞

幣原外務大臣 芳澤公使

第二四四號

雲南側代理ノ意味ニ於テ教育總長ニ任セラレタル王九齡ハ過日日本ヨリ北京ニ到着シ段執政ヨリ切ナル勸告ヲ受ケ就職ニ決定セシ趣ナリシカ數日來北京各學校ニ之ニ反對ノ意ヲ表シ王ニテ就職セハ各學校同盟罷校ヲ為スニト唱ヘタル現總長代理次長馬叙倫ノ

文部省

暗ニ使喚セルモノナリトノ噂アルモ王ハ十六日遂ニ總長ニ就任セリ就テハ今後教育上ニ多クノ紛擾ヲ見ルヤ測リ難キモ王ハ曾テ數年間日本ニ在リテ我ニ同情ヲ有スルヲ以テ我文化事業等ニハ好都合ナラント思考セラレ (終)

MT

1614

22540

MT

1614

22539

REEL No. 1-0557

0254

陸同文

電報

參謀次長宛

大正十四年三月十六日

三月十四日午後六時十五分發

支那駐屯軍司令官

天電第四九號

孫文、死に對スル天津國民黨以外、新聞、論調

致派、大公報曰ク先生誠ニ惜ムヘシ然レトモ後継者ナキハ

益、愁ムヘシ以テ民黨ノ為ニ愁レム

黎元洪派、漢文「タイムス」曰ク孫文ノ死ハ民黨内部ニ幾多

ノ問題ヲ生セン切ニ其後継者ノ孫文ニ劣ルコトナキヲ望ム

直隸派、河北日報曰ク吾人謹ミテ先生ノ意志ヲ継キ死ヲ

誓ヒテ國ヲ救ハシ

米國機關紙益世報其他ハ單ニ孫文ノ死ヲ惜ム美辭麗句

ヲ駢ハツツアルモ爾後ニ於テ爾國民黨ヲ悲觀セサルモノナシ

関東、北京、坂西、奉天

外務省

要目付

226

MT 1614

22545

MT 1614

22544

REEL No. 1-0557

0255



陸軍部

陸軍部

陸軍部

電報

大正十四年三月十四日
三月十四日午後十時四十分發
天津軍司令部

參謀次長宛

天津第四師

一 孫文ノ死去ニ對シ天津ニ於テ六省長ノ命令ヲ以テ

半旗ヲ掲ケ弔意ヲ表シツ、アリ

二 天津國民黨ハ孫文ノ死ト共ニ幾多ノ「ヒラ」ヲ

撒キテ其功業ヲ宣傳シ且ツ黨員ノ結束ヲ計リ

又昨今下層民相争ノ一又新聞ヲシテ惡辣ナル

排日ヲ為サシメツ、アリ

三 馬千里、天津國民黨主任安幸生其他主ナル黨

員ノ北京ニ赴ク者多シ

関東、北京、坂西、上海、奉天ス之

MT

1614

22546

REEL No. 1-0557

0256

陸軍部

第一課甲

秘

陸同文

電報

大正四年三月十九日
三月十二日午後五時五分著
三月十四日午後五時五分著

參謀次長宛

天津第四七號

天津軍司令官

孫文死亡以前天津國民黨中ノ排日首領馬介

里ノ下ニ來レル汪兆銘連絡員ノ密談要旨

孫文重態ニ付黨員ノ結束ヲ必要トス特ニ國民黨員

ト國民黨幹部基督教徒ノ結合ヲ第一トス之カ

為三月十八日ヲ期ニ上海ニ於テ宣統帝日本行

反對ノ會ヲ開キ以テ孫文死亡後ノ後繼者ヲ選

舉シ又唐繼堯ノ運動ヲ牽制スルヲ定メリ



MT

1614

22547

北方ニ於ケル國民黨ノ勢力大ニシテ馮孫胡ノ
三軍ヲ合スレハ二十万ニ達シ此ノ三人ハ孫文ノ主義
ノ為ニ死カヲ尽スヘキ也張作霖ト戦フ時期ニ
達セサルヲ以テ暫ク段ニ從フ如ク懷ヒ西北ヲ固メ
直ニ奉天ヲ奪キ得ル迄隱忍スル筈又目下山東
安徽兩省ニテ國民黨ヲ編成スヘク李傳業王
普等活動中廣東方面ニ在リテハ許崇智等專
ラ援護ニ任スヘク攻撃ヲ中止シテ現状維持ヲナス筈
廣西四川福建等ノ同志モ各々自衛ノ策ヲ講
ニ他ニ乘セラレサル如クスル筈

第三角此際最モ重要視スヘキハ唐繼堯ノ離反
ナリ四方ノ同志ハ極力彼ニ致サレサル如クシテ
孫文黨ノ分裂ヲ防カレタレ又宣統帝等ノ運動ヲ監視シ

MT

1614

22548

外人ノ我國破壞ヲ未然ニ防止スルヲ要ス云々
以上宣傳ノ嫌アルニ出所確定ナルヲ以テ為念
関東、北京、台湾、上海、奉天ニ

MT

1614

22549

REEL No. 1-0557

0258

陸軍省

第一課甲

支那駐屯軍司令官

陸軍省

電報

参謀次長宛

大正十四年三月十六日

三月十三日午後八時二十分發
支那駐屯軍司令官

天電第四十六號

一、孫文ノ死去ニ對シ天津ノ空氣ハ豫テ期シタルコトナルヲ以テ著レク動搖セズ唯國民黨力愈々共產派ト非共產派トニ分離スルノ外幾多ノ小党分立スヘキモノト觀察シツツアリ又黎元洪一派ハ此際野心ナキ者ノ宣傳ニ急ハレテ直隸殘党ハ依然北京政局不安ノ流言ヲ放テ奉天系カ善後會議ヨリ脱退スヘレ等ノ風説ヲ傳ヘツツアリ

二、天津國民黨支部ハ排日運動及宣統帝周圍ノ者ノ攻撃ヲ以テ人心ヲ緊カントスルモノノ如ク該系統ノ新聞ハ

223

要目付

MT

1614

22550

日本カ二十一條問題ヲ閱シ誠意ナキノミナラス各地ニ於ケル動乱ヲ助長シツツアルヲ諷シ又宣統帝ヲ中心トシテ復辟運動アルコトヲ宣傳シ國耻記念日ニ於テ排日ノ催シテ計畫シツツアリ李景林楊以徳ハ其防止ニ苦心ス

三、雲南財政司長王九齡ハ愈々北京教育總長ニ就任スルコトトナリ中央ト雲南トノ間ノ疑ハ一掃セラレントシツツアリ

四、孫岳ノ保定撤退後李景林ノ代表ニ之ヲ受領シ該代表李鳳鳴ハ道尹ニ就任セルモ地方各縣ハ未タ完全ニ回收スルニ至ラス交代條件ハ既報ノ通りナリ

五、河南ニ於ケル戰爭ノ情況ハ宣傳多クテ天津ニ於テハ真相ヲ知り得サレモ彈藥缺乏ノ為メ抄々シキ戰ヲナレ得サルコト胡景翼ノ大勝利ハ虛報ナルコトダケハ事實ナル如シ

MT

1614

22551

六、天津ニ在リシ較芝貴ハ三月十二日腦溢血ノ為メ突然死セリ政局ニ及ホス影響ハ歎カラシク之ヲ要スルニ時局拾收停頓ノ昨今孫文ノ死ハ執政政府ヲシテ何等カ新生面ヲ開カレムルニ至ラン

善後會議ノ一時休會ハ是等ヲ暗示スルモノト謂フヘク再會後善後會議ニ於テ財政軍事兩業ヲ曲リナリニモ通過セシメ王揖唐姚震等ノ業ニ依リ執政政府一部ノ組織ヲ改メテ今議機關タル參政院的ノモノヲ置キ以テ來ルヘキ國民代表會議ヲ召集ヲ待ツコトナルナランカ
免モ角今後一週間ニ於ケル國民黨ノ切り崩シハ注目ニ値ス

閩東 北京 坂西 上海 奉天等々

MT

1614

22552

REEL No. 1-0557

0260

電信課長

大臣

次官

亜細亞

通商

條約

情報

人事

會計

文書

平和條約

總文

件名	本署著 大正十七年二月十八日附大五。
綴込名	一般

一頁

東京外務大臣

東京 二月 十八日

第二四〇六號

付復第二四〇六號の關し

王九日附の十七日午後教育委員、對する門の
待々果の教十名ノ教職員の王の四馬倒の果
力に以て阻止したる爲王の左の以第の段執政
ニ報告したるに段の直一馬以長ヲ召喚して
此を以て其謀者ノ調査は第一方其謀者
より保安隊の教育委員、派遣の體に對して

王ハ一更ノ發言ニ答へて曰、同部、主ノ教職
ノ授けり居し、趣ナルが同夜馬以長ハ其
職ノ者發表せし、猶、主トシテ王、反社ニ
、亦、大、學、ニシテ、語、大、農、大、其、他、ハ、也、附、知
、之、道、や、カ、ハ、法、大、王、大、師、範、大、ハ、結、果、不
、教、政、倒、ノ、恐、ハ、強、硬、ナ、ル、種、様、ヲ、カ、ハ、大
、學、ハ、教、育、部、ト、關、係、ヲ、絶、つ、ハ、シ、ト、稱、ハ、反、社、運
、動、ノ、計、画、中、ニ、由、リ、一、更、ノ、言、ハ、一、語、ヲ、以、テ、
、是、レ、カ、ル、ト、シ、。

MT 1614 22556

MT 1614 22555

電信課長



大臣

次官

局長



亞細亞 歐米 通商 條約 人情 報事 會計 文書 和平條約 對支文化

陸海軍

件名	
綴込名	一般

2655 (暗)

廣東省 粵省署

十七日 前二二四〇

十八日 前八三〇

亞

駐在外務大臣

清外總領事代理

第三三號

拙電第二三號、同日昨十七日胡漢民ヲ訪

問シテ降胡ノ内務要領者ノ通

(一) 孫文ノ死ニ依リ吾民黨ヲ整理ナル名稱ハ永

遠ニ消滅シタルニ吾民黨ノ一般的政治綱ト

道ハハ素ヨリ變更ナシ、一ニ孫文ノ遺志

ヲ確守シ行カン、

(二) 差當リテノ問題ハ段執政政府ニ善後

會議ニ對スル民黨ノ態度ニモ依然ト變更
ナク孫ノ遺志通り其ノ名稱ノ如何ハ問ハ
サルニ吾民ノ代表ヲ參加セシムルヲナクシテ真
ニ善後措置ニ関スル事項ノ範圍ヲ越テテ
素リニ吾黨ノ大本ニ関スル事項ヲ討論シ居
ル目下ノ善後會議ニハ飽テ反對ス、但シ
將來文字通りニ吾民代表ヲ網羅スル會
議ノ同カレタル條ハ此ニテ之ニ參加ス、
(三) 北京ニ合法政府ノ成立ヲ見ル迄ハ去元帥府
ヲ取消サズ但シ其ノ組織ヲ變更スルヤ否
ヤ目下未定、孫文ノ葬儀後決テ空ノ答
(四) 舊吾民黨員中(陳炯明モ其ノ一人)

MT

1614

22558

MT

1614

22557

機密
14. 8. 1E

上海電第三十二號
孫文ノ死ハ元來民黨ニ好感ヲ有スル上海ノ民心ヲシテ哀悼ノ誠意ヲ表セシメツツアリ孫文死後ノ政局判断ニ関シテハ未タ多ク論議セラレサルモ國民黨左右兩派ノ必然的分離ニ伴ヒ政界ニ多少ノ變化ヲ来スヘシト説クモノアリ之ニ對シ國民黨系ハ却テ結束鞏固ヲ加フヘシト宣傳シ智識階級間ニ孫文死ストモ民主主義ノ發展ニ影響御者ナリ孫ノ思想ハ依然青年支那ノ指導ニ勢力ヲ繼續スルモノト認メラル

電報
參謀總長宛

上海 岡村 中佐

大正十四年三月十七日

三月十六日午後六時十分發
午後七時十分發

亞細亞局

發送室

取次一級

MT

1614

22560

連省自治ヲ標榜シテ此ノ際新黨ヲ組織シ唐紹儀ヲ黨首ニ担中出サント劃策中ノ者アルハ事實ナルモ唐ハ黨首トシテノ微見ト才能ニ缺ケタルヲ以テ成功覺東ナレ
⑤在北五民黨幹部ノ大部今ハ執政府ト善後合議ニ對スル關係上依然各地ニ止ルニト、
左ヘシ。
支公使一轉電ヲ奉天上海天津汕頭ノ
略送セリ

MT

1614

22559

29

門
17

亞細亞局 第一課

大正十四年三月十七日

在廣東

總領事代理 清水亨



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

機密郵電第四二號

孫死後民党内部、軋轢説ニ関スル件

拙電第二一號及第二三號ニ関シ本十七日當

館牒報者ノ内報ニ依レハ民党内部、軋轢

ハ早クモ當地、大元帥府(簡言スレハ當地、所

謂廣東政府)ノ組織変更ノ問題ニ付漸ク

具体化セムトスル情勢アリ胡漢民一派ハ所謂

在廣東日本總領事館

聯軍幹部廣東軍總司令許崇智、湖南軍總司

令譚延闓、雲南軍總司令楊希閔等實力者

ノ援助ヲモ求メテ現狀維持ノ下ニ自ラ事實上、

大元帥トシテ今迄通り政府ノ首班ニ居座リ内

外ニ孫令セムト目論見居ルニ對シ孫ノ子孫科

ヲ首班トスル所謂「太子派」ノ一派ハ孫ノ死シテ

今日大元帥ナル名稱ハ當然廢止セラレハク之ニ代

フルニ委員制ヲ以テスキナリト主張シ其間ノ暗闘

漸ク露骨トナリ現ニ太子派ハ前顯楊希閔ト

折合好カラザル今レク雲南軍々長サ犯石生ノ一

味ヲ抱ヘ込メント策シツアリトノコトナリ

本信寫送付先 在又公使 上海、奉天、天津

汕頭、臺灣

1614

22628

1614

22627

証細亞

第一課甲

北秘第八七號

大正十四年三月十七日

在北京

立田内務事務官

情報部 第一課 長 殿



孫文死後、國民黨非共產派、行
動之虞スル国民党人ノ談
約二箇月前毎日、如ク孫文ヲ病床ニ訪シテ之ヲ見
舞ヒ且ク親シク看護ニ當リシ國民黨ノ領袖邵元冲
ハ孫ノ死後ニ於テハ國民黨ハ分野特ニ非共產派、

行動之虞ニ及、如ク談話ヲ為セリ邵ハ國民黨北京
市党部執行委員ニシテ孫文ノ遺言ニ際シ立會セル
者ノ一人ナリ

左記

國民黨内ニ於ケル所謂要人ト稱スヘキ者ハ左右両
派ヲ含ミテ約百七十名アリ此ノ内幾人ヲ共產派
ルヤハ中國共產党ヲ秘密結社ナル關係上明確ニス
ルヲ得サルモ約七十名ヲ本党ノ共產黨員若クハ民
党員トシテ在領シテ共產黨員トナルコトハ確實ナ
リ
遠坂忠地ニ於テ殘餘ノ過激分子百名ニ依リ國民黨
同志俱樂部ヲ組織シ（本月十三日附北秘第八七號



1614

22590



1614

22589

参照) 全然共產主義ヲ排斥シ温健分子ヲ結束シ固
メタルヲ違ハ唯本質的ニ宣言シ止マリ具體的ニ共
産派ニ対シ挑戦セルニアラス近々同俱樂部ハ理事
會ヲ開キ同俱樂部トシテ今度ノ態度ヲ決定スル
次第ニシテ孫文ノ逝世直後ノ事トシテ表面的行動ハ
之ヲ避クヘキモ勿論紛擾ハ免シサルヘシ
温健分子ヲ左派ト分離シテ正式ニ独立シ新党ヲ組
織ストセハ三民主義ヲ飽ク迄保持スルコト、徒ラ
ナル言論ヲ排シテ實現シ得ヘキ政綱政策ヲ採用ス
ルコト茲黨機關ヲ委員制トスルコトヲ其ノ綱領ト
スヘキ其ノ曉ニハ陳炯明ヲ首領トスルニ至ルヘシ
云々

通報先

警保局長

情報部次長

朝鮮、關東、臺灣各總務局長

上海、哈爾濱駐在員

MT

1614

22019 22592

MT

1614

22019 22591

REEL No. 1-0557

0266